

## 林野庁プレスリリース(5月)

第3回「木材に関する技術開発目標」検討会の開催(5/7)

「美しい森林づくり推進国民運動」のキャッチフレーズの決定(5/9)

国連森林フォーラム第7回会合 UNFF7の結果概要(5/10)

森林 もり づくり活動についてのアンケート集計結果(5/11)

「小笠原諸島森林生態系保護地域」保全管理委員会 第1回 の開催(5/15)

第6回「森の“聞き書き甲子園”」の実施(5/15)

緑資源機構談合などの再発防止のための第三者委員会の開催(5/15)

第3回「木材に関する技術開発目標」検討会の概要(5/16)

平成19年度山地災害防止キャンペーン実施(5/16)

平成19年度における独立行政法人緑資源機構の水源地造成事業の期中の評価(5/18)

第42回国際熱帯木材機関 ITTO 理事会の結果(5/18)

気候変動枠組条約第26回科学的及び技術的助言に関する補助機関会合 SBSTA26の結果(5/21)

「緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会」第1回委員会の概要(5/21)

第1回農林水産省政策評価会林野庁専門部会の開催及び傍聴のお知らせ(5/22)

平成18年特用林産物の生産量 速報(5/23)

平成19年度 第1回緑資源幹線林道事業期中評価委員会の開催(5/23)

林野庁等における指名停止措置(5/24)

緑資源機構談合などの再発防止のための第三者委員会の開催(5/29)

## 林野庁 一口メモ

### 間伐材で作った“マイ箸”を持ち歩こう と全国行脚

先日、林野庁に素敵なお客様がいらっしゃいました。その方は、市民団体『Happyまるけ』代表の神谷芝保さん。名古屋弁でHappyだらけという意味のこの団体は、人や動物、森、空、海など、あらゆるものが丸ごとHappyになるために、一人ひとりができることを考え、活動していこうと訴えます。来庁されたときも、「どうしたら日本の山がよくなるか?」「どうしたら国産材が使われるか?」「間伐材の使い道について」など、熱心に質問されていました。

数ある活動の一つに、自分専用の箸“マイ箸”の販売・推奨があります。割り箸の原材料となる間伐材の利用推進などの観点から、活動を始めたそうです。また、販売で得た利益の10%を基金として間伐促進などに役立ててもらっているそうです。

神谷さんは、4月中旬からはマイ箸かけ箸の旅と題し、自転車で日本一周の旅を始めています。全国各地の環境イベントに参加したり、路上でマイ箸の普及を訴えたり、子どもたちに紙芝居を見せたりする活動を続けています。マイ箸をすすめる手作りの紙芝居は、独特のかわいい絵と神谷さんの豊かな表現で、楽しい気分で環境について考えることができるものとなっています。

しかし、全国を周る中で困っていることがあるそうです。子どもたちに紙芝居を見せるために、学校を訪問しているそうですが、安全対策などの考えから、なかなか受け入れてもらえないそうです(もっとも、事前にアポイントを取らずに飛び込みで学校に伺っているようですが……)。

もし、皆様のお近くに、下の写真の女性が来ましたら、あたたかく迎えてあげてください。また、『Happyまるけ』に興味を持たれた方、神谷さんに来てほしいという方は、下記のホームページをご覧ください。

『Happyまるけ』<http://comi.in/happymaruke/top/>



## 編集 後記

出かけたときに、近くに里山があれば、山をのぞくようにしています。すると、山は遠く、悪しき共通項が存在することに気がつきました。それは、不法に投棄されたゴミがあるということ。「森をきれい」と長い間叫ばれ続けているにもかかわらず、ゴミの山を見るたびに、いまだ解決には程遠いと痛感します。

美しい森林づくりは、間伐すればよいという問題ではありません。ゴミを減らすことも、美しい森林は作れます。まずは、個人の意識改革。次は、その意識を広めていく。これだけでも、確実に森林は美しくなります。「自分はやっている」と思わず、改めて意識することが大切だと思います。

## 林野 RINYA 6月号 No.3

平成19年6月15日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷1-41-7 クリサンテ1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽1-7-12